



令和5年12月22日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第35号

第2学期終業式 学校長式辞

令和5年12月22日

校長 柿林 浩彦

今日は2学期の終業式を行い、もうすぐ令和5年も終わります。冬休みは、今年を振り返ったり、来年の目標を考えたりすると思います。

さて、1学期の終業式では、将棋界の藤井 颯太名人の話をしました。その時は七冠でしたが、10月11日に行われた王座戦第4局では、AIによる99%劣勢の予想から逆転勝利し、史上初の八冠になりました。21歳という最年少の快挙です。



藤井 颯太 八冠はインタビューにおいて、自らの実力について問われた際、「まだまだ伸びしろは、改善の余地は本当に多いと思っています。」と答えました。そして、続けて次のように述べています。

「10代の頃と違って、意識的に取り組んでいかないと棋力を伸ばしていくのが難しくなっているかなという風に思っているので、どうすれば実力を高めていけるのかというのをしっかり考えていきたいと思っています。」

この言葉から、21歳の若者が自分自身を冷静に見つめて分析しているとともに、今後のことをしっかり考えていることが分かり、本当に感心しました。そして、将棋界のトップ中のトップが「謙虚」な気持ちを持ち続けていることも本当に凄いと思います。

生徒の皆さんはまだまだ10代で若いですから、何をしても努力すれば自然と身に付いたり、上達したりします。例えば、勉強すれば学力は身に付き、スポーツを練習すれば上手にできるようになります。しかし、藤井 颯太 八冠は弱冠21歳ですが、更に力を身に付けるためには、これからは意識的に取り組むことが必要と考えているのです。本当に凄い一言です。

藤井聡太八冠への軌跡 ※左から獲得順

棋聖	王位	叡王	竜王	王将	棋王	名人	王座
17歳11月	18歳11月	19歳11月	19歳3月	19歳6月	20歳8月	20歳10月	21歳2月
2020年7月	2020年8月	2021年9月	2021年11月	2022年2月	2023年3月	2023年6月	2023年10月

藤井 聡太 八冠は17歳の時に初タイトルを獲得したとき、色紙に「探究」としたため、「より強くなって新しい景色を見たい」と語っています。将棋界でもAI（人工知能）が現れ、AIの方が人より強いことから、藤井 聡太 八冠を含む多くの棋士が、研究にAIを取り入れています。

しかし、藤井 聡太 八冠は、AIはあくまでも強くなるための手段であり、目指すのは勝利や記録更新よりも81マスの盤上にあるはずの「真理」を探究すると語っています。

この話からも分かるように、AIなど身の回りの環境は今後も進化を遂げ、更に便利な世の中に向かっていくのでしょうか。しかし、大切なのは「真理」や「本質」を探究すること、もっと言えば「自分自身」を突き詰めることなのではないでしょうか。

現在、中学3年生は高校受験を控え、面接練習を繰り返し行っています。最初に「志望理由」を聞きますが、「オープンスクールに行って良い印象を感じた」とか、「〇〇さんが通学していて良い学校だと聞いている」などの返答を多くの人から聞きます。その気持ちは十分理解できるのですが、本当に聞きたいことは「自分は〇〇をしたい」など「自分自身」のことなのです。

明日から1月8日（月）まで17日間の冬休みとなりますので、生徒の皆さんはしっかり自分自身を見つめ分析し、今後のことを考える機会にしてほしいと思います。

1月9日（火）の始業式では、また元気に会いましょう。

保護者の皆様へのお願い

冬休みは、家庭で過ごす時間が増えたり、外出したりするなど、普段出来ないことや様々な体験ができるなど大変貴重な期間です。次の内容について、ご家庭でお話しをしていただき、充実した冬休みにしてほしいと思います。特に、気になることがあれば早めにどこかに相談することは大切だと考えています。よろしくお願ひいたします。

- 1 規則正しい生活を心掛けましょう。
- 2 外出時は事故やトラブルに気を付けましょう。
- 3 健康管理には毎日留意しましょう。
- 4 気になることがあれば早めに相談しましょう。



蒲刈中学校においても相談窓口を設置しています。気になることがあれば、学校へ相談したり、相談しやすい人に早く話を聞いてもらったりすることが大切です。次のような相談窓口も開設されていますので、お知らせいたします。

○心のふれあい相談室（広島県）

082-428-7110

○こころのライン相談@広島県（広島県）

[こころのライン相談@広島県](#) 検索